

スーパーカーのいるガレージに最適!

GARAGEE QUIPMENT

PART.1 排気システム



ガレージ建築を決めた時から導入をイメージしていたというAさんは、モーター部を愛車F355と同じロッドカラーでオーダーペイント。スーパーカーと排気システムの組み合わせは、もはや鉄板と云える。



ガレージオーナーにとって、暖機やメンテナンス中にたまる排気ガスは最も気になる問題のひとつ。特に排気音量が大きなスーパーカーであれば、ガレージドアを閉めた状態で暖機をしたいと思うのも当然のこと。実用性はもちろんのこと、やはり存在感も含めて専用品ならではの魅力があるのだ。

排気システムを取り扱うメーカーはいくつかあるが、取材現場で最も目にする機会が多いのが「株式会社セーフティライフ」のEG Way Outだ。電動ファンを内装した本体+耐熱ホース、マフラーへのアタッチメントという2つのパートから成り、その名の通り、EG（エキゾーストガス）を簡単かつ安全に排出してくれる頼もしいアイテムだ。ノーマルへの対応はもちろん、車種やカスタムによって異なるマフラーの位置や形状に対しても、1台ずつ丁寧にベストなセッティングを施してくれる。ヒストリックラリーにも出場するほどのクルマ好きである長谷川代表は、カスタムオーダーにも積極的に対応してくれるとのことなので、まずは相談してみたい。

価格

標準タイプ本体（5mホース付き）：
47万円より（消費税、取り付け加工費は別途）
ダブルタイプ・アタッチメント：32万円（税別）
シングルタイプ・アタッチメント：16万円より（税別）

問い合わせ

株式会社セーフティライフ
phone/052-221-8884 <http://www.safety-l.com/>

「車種に合わせて調整するアタッチメントにより、位置、形状共に複雑なスーパーカーのマフラーにもジャストフィットできる。①耐熱ホース巻取りタイプもラインナップされており、これらら必要に応じてホースを引き出し、普段はコンパクトに収納できる。②四輪用が主だったEG Way Outだが、バイク用も近く発売予定とのこと。排ガスについてはバイクの方が深刻との見方もあり、待望の登場と云えそうだ。③本体はシックなブラックが基本だが、カラーオーダーも可能で、愛車のボディカラーや企業のロゴを配する例も見受けられる。

